

Q 男女共同参画の推進は

A 行政自ら率先して推進



▲村でも各種研修会等に参加

Q1

①男女共同参画の推進にあたり行政として、また職場としての役場の取り組みと課題は。②各種審議会等の女性の登用率とその効果は。

A1

①職員自らが男女共同参画についての理解を深め、施策方針の決定・実施は男女共同



佐藤 美喜子 議員（新志会）

参画の視点で取り組む事に努めて参ります。環境づくりの施策については各種研修会等への参加を推進し、また情報提供、啓発を推進しております。

②女性委員の登用率は16年21.5%、19年4月22・9%となっております。男女それぞれの意識を啓発していく中で、聞いてもりたい人にとどるようにメッセージを伝えられるかが課題であります。

狭あい・老朽化施設整備は

Q2

①ファミリーサポートセンターの現状は。

②病後児保育について伺います。
③狭あい・老朽化施設の整備は。
④子育て支援センターを増やす見通しはありますか。

補助金が減額となり運営がきびしくなっている現状をどうとらえていますか。

A2

①7月の事業開始をめざし登録者募集等の準備中であります。

②小児科に併設して、病気の回復期にある乳幼児から小学校低学年児童を対象とした一時預り施設「キッズケアルーム風船」があり、ここに病後児保育事業を委託し利用いただいております。

③民間の保育所については当事者において具体的計画ができた段階で村として支援します。巣子第一・第二・滝沢ニュータウン学童クラブは20年度以降、順次改築に着手します。

④現在3ヶ所で開設しているが更に1ヶ所開設の準備中です。村の委託事業ではありませんが国の実施基準、補助金額と同一条件でお願いしております。今後効率的な運営のあり方等を共に研究します。

Q 役場広場に楽市楽座を

A 条件は良いので検討を



高橋 盛佳 議員
(新志会)

村が行なうべきものか生産販売者等を組織して行なうべきものか、また参加要件の決定、参加者の募集、PR、消費者要望等の事務と経費について検討する必要があります。

A1 役場前は交通量もあり、栗石町の軽トラ市などと比較しても道路使用許可の必要もなく駐車場もあることから市を行なう条件は整っています。



▲賑わう柳沢日曜市

Q1 柳沢日曜市は、開設来3年目を迎え好評です。また、村民アンケート調査では、住民から、村内に道の駅のような村の物産を販売できる施設を望む声もあります。例えば、土日などに役場の広場を提供して、農家だけでなく高齢者や主婦など誰でも「ホマチ」を稼ぐことのできる「現代版・楽市楽座」のようなものをする考えはないか。

今後、出店の需要動向や実施方法等について先進事例などを調査します。

職員を地域に出し意識改革を

Q2 住民協働を進める上での職員の意識改革への取組みはどのようなことがなされてきたか。また、その成果等はどうか伺います。

A2 ○職員相互の触れ合いと対話のある職場。
○現場・地域の人々に学ぶ心を大切にする職場。
○一人ひとりが持っている力を十分に発揮してやりがいと自己実現が可能な創造性あふれる職場。
○時代と地域が求めている価値を創造するため、常に人々と協働しながら継続的に改善に挑戦する職場などに取り組んできました。

しかし、職員の意識改革は進んでいると感じる面もあるが、住民はまだまだ職員の変化を実感していないといえます。そのため、積極的に地域の実情を肌で感じてもらう理解を深めるよう努めさせていきます。

また、7月から来年2月まで、「村長とのお気軽トーク」として各地域に出向き、職員も同行させ、地域の声をお聞きし、まちづくりの参考にさせていただきます。